

強みの分析 × マッチングサイト活用

専門家：中小企業診断士 武 篤志 / 担当コーディネーター：市川 信之



佐野 淳氏

Focus Point

- ▶ 民間の引継ぎ支援機関（バトンズ）を活用し、幅広く引継ぎ者を探しました。
- ▶ 承継者は地域密着の書店を目指しており、商店会や組合等も無事に引継ぐことができ、引渡し者の「想い」も引継ぐことができました。



事例動画あります

ひたち屋書店

代表者 佐野 淳

業種 小売業 書店

所在地 東京都調布市飛田給2-18-1

※「ひたち屋書店」は令和7年3月に閉店。新オーナーへの第三者承継が完了し、令和7年6月より「本屋ふらふらっと」が同所在地で営業を開始しています。

京王線飛田給駅近くの商店街に店舗を構えていた「ひたち屋書店」は、調布・府中エリアを中心に、病院・美容院等の待合用の雑誌類を配達する事業や図書館・学校などへの専門書手配などに取り組み、地域密着の営業を行って来ました。



在りし日の「ひたち屋書店」



Before 相談内容

- ▶ 健康不安により早急に承継先を確保したい
- ▶ 事業承継の進め方を知りたい

京王線飛田給駅前の商店街に、ひたち屋書店を開店したのが1977年です。私は大学卒業後、建築事務所で再開発に関わる仕事をしていました。しかし、学生時代から書店に入り浸るほどの本好きで、「私だったらこういう書店にする」という思いがずっとあり、28歳で脱サラして開業しました。



本屋は地域の絆を育む場でもあるという佐野氏

本をきっかけとしたお客様とのコミュニケーションを大切に営業していましたが、コンビニエンスストアの台頭もあり、時代と共に本屋だけが本を買う場所ではなくなりました。それならば、こちらからお客様のところへ行けばよいのではというのが、配達を始めた原点です。

配達先は個人もありますが、多くは病院や美容院などへ、待合用の雑誌類をオートバイに積んで回っていました。配達区域は徐々に広がり、世田谷区や八王子市までを含む10市区にまで及び、ピーク時には配達要員として2名雇っていたこともあります。さらに、市内の図書館、学校への書籍の納品など、地域密着の営業も行ってきました。しかし数年前から、私の体調不良により納品が遅れることが度々発生し、家族からオートバイでの配達を心配されるようになり、この状態では事業を継続することは難しいと私自身も感じるようになりました。そこで、同業者に事業承継の話を持ちかけたところ、よい感触だったので、その意思を固めることとなりました。そして事業承継の進め方の知識が全くなかったため、調布市商工会へ相談したところ、多摩・島しょ経営支援拠点の専門家支援を受けることを勧められ、2023年5月に申し込みました。



Support 支援内容

- ▶ 事業の現状をすべて把握して自店の強みを知る
- ▶ マッチングサイトを使い、想いを共有できる承継先を選ぶ

専門家より、まずは自社の事業内容の把握をするように勧められ、販売先の件数、それぞれの売り上げ実績の分析、顧客サービスの内容や地理的分布などを把握するお手伝いをしていただきました。

ところが、事業を引継ぐ予定であった同業者が家族の理解が得られず、白紙に戻ってしまいました。しかし、私の体調のこともあり、早急に承継先を探す必要がありました。幸いなことに、事業内容の把握を進めてきたことで、配達により一定以上の売上が確保できており、顧客基盤も確立しているという強みが明らかになっていました。そこで、民間のマッチングサイトを利用することが可能であると提案をいただきました。

いくつかあるサイトの中で、小規模事業者向けで定評のある「BATONZ（バトンズ）」へ登録すると、すぐに譲り受けた希望者から10件近い反応があったのですが、パソコンやインターネットに不慣れな私にはそれが少し恐くもあり、また通常業務を優先していると、なかなか返事を出すことができませんでした。時間経過で交渉が不成立となるものも出てくるようになってしまい、娘にも手伝ってもらいながら、少しずつやり取りを進めました。そして数人と接触している内に、「この人は」と思う方が見つかり、実際に会って話しを伺うことになりました。専門家より、同時並行で何人

もではなく、「この人」と決めた相手ときちんと向き合うことをアドバイスしていただいたのがよかったと思います。そして何度かお会いするうちに、書店や出版業界での経験はないものの意欲のある方と感じました。その後、配達先の顧客と、調布市内の学校などへの納入業務を引継ぐ条件や、地域密着の書店づくりを大切にしたいという想いも理解していただくことができ、承継先として決断しました。最終的には、取次（本の流通業者）へ繋いだりしながら、2025年4月に無事、引継ぎが完了できました。今後は私がこれまで大切にしてきた「お客様とのコミュニケーション」を、ご自分の理想とする書店づくりの中で受け継ぎ、発展させてくださることを期待し、応援しています。



新たなオーナーである明壁氏のもと、「本屋ふらふらっと」として生まれ変わった店舗

事業承継支援をお考えの方へ

事業承継という経験は初めてで、分からないことばかりだと思えます。それならば、とにかく専門家に相談して知恵を授けてもらう。私は、店の状況をさまざまに分析してもらい、「ひたち屋書店はこういう店だったんだ」と改めて知ることができ、自信を持ってそれを伝えられたのもよかったと思います。（佐野 淳氏）

担当者の声

相談当初は、体調が思わしくない様子でした。にもかかわらず顧客や書店組合、地域商店会のことを考え、尽力されていました。少しでも早く承継できるようにと専門家の先生と作戦を練り、無事にお相手を見つけることが出来ました。（コーディネーター 市川 信之）